

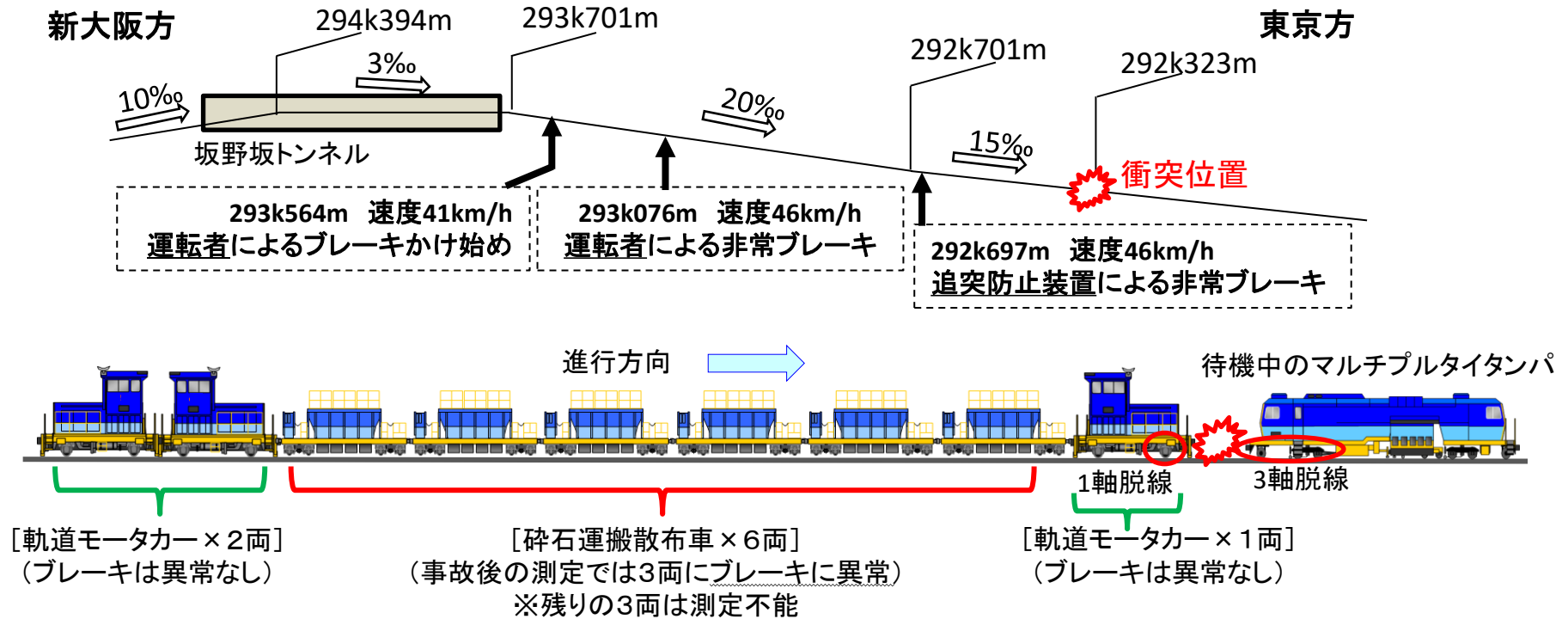
東海道新幹線における保守用車脱線について

令和6年9月30日
東海旅客鉄道株式会社

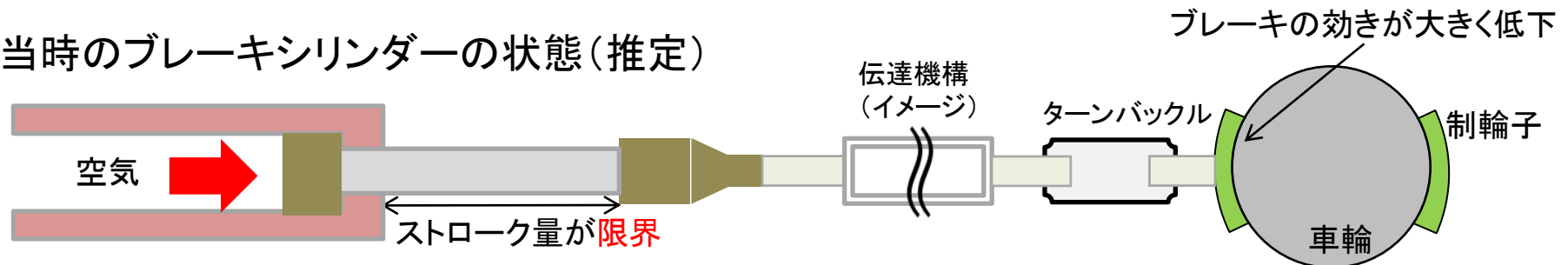
資料3 - 3

○概況

2024年7月22日3時37分、東海道新幹線 豊橋駅～三河安城駅間上り線において、東京方の豊橋保守基地に向かう途中の保守用車(碎石運搬散布車編成)が、合流するために待機していた別の保守用車(マルチプルタイタンパ)に衝突し、碎石運搬散布車編成及びマルタイの一部の車軸が脱線

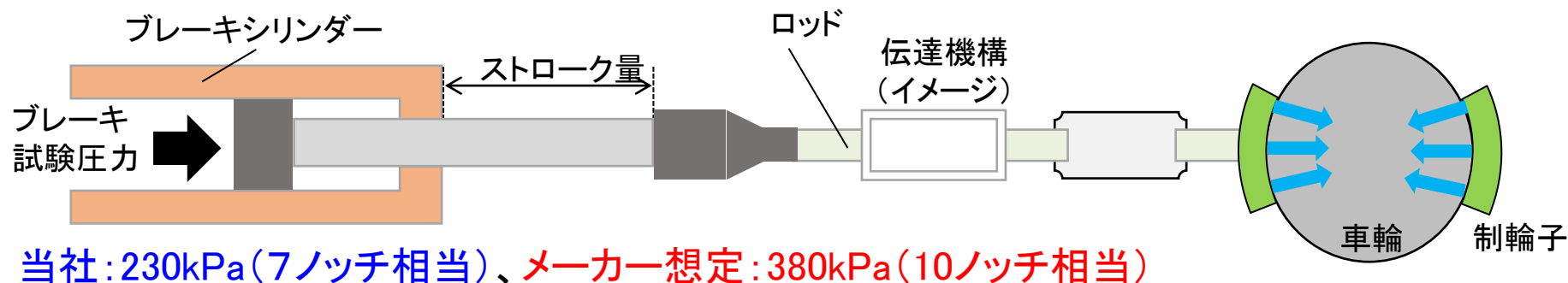


○事故当時のブレーキシリンダーの状態(推定)

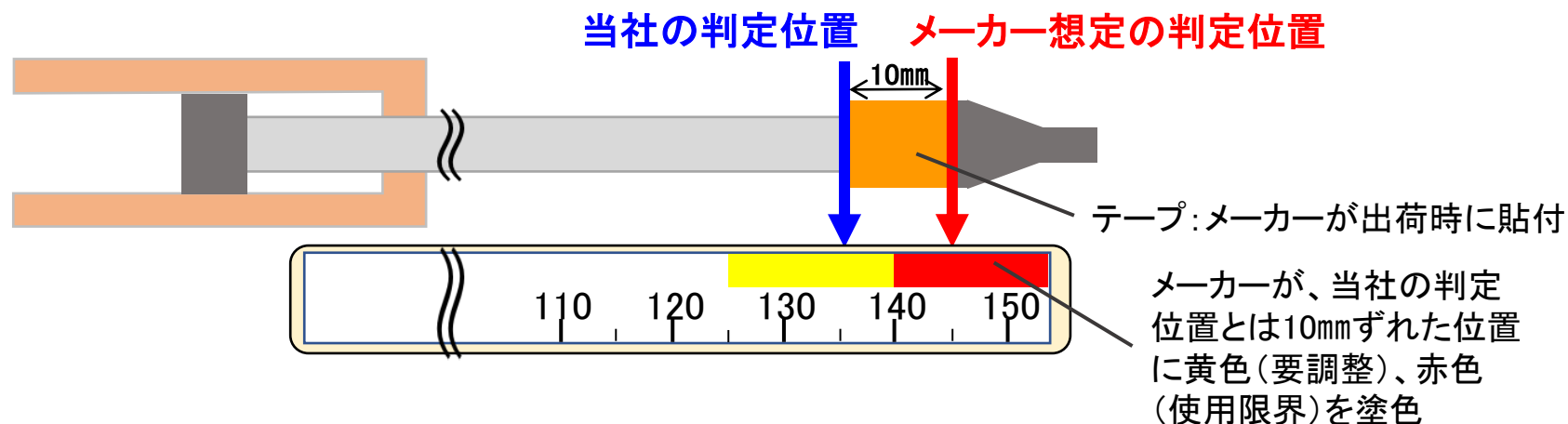


○原因

- (1) 最大圧力でブレーキをかけた状態で行うという保守用車メーカー想定の確認方法を採用していなかったため、ストローク量に14mm程度の誤差が生じた



- (2) ストローク量の判定位置について、当社とメーカーの認識が異なり、10mmの測定誤りが生じた



○対策

- (1) ストローク量確認時は最大圧力でブレーキをかけること、ストローク量の調整要否の判定方法等についてルール化
- (2) 全ての保守用車従事者に対するルール遵守の再徹底及び履行状況の確認